

実施主体：MCRコンソーシアム

実施地域：千葉市(2019/9ちばレポより移行)、花巻市、東広島市、加賀市、大津市、和歌山県、尼崎市、高島市、高松市、塩尻市、和歌山市、富士市、みよし市

あなたのまちをみんなで住みやすく ～ 少子高齢化社会に向けたICTを活用した市民協働プラットフォーム

取組の概要

My City Report
for citizens

市民による街の不具合の
発見・自己解決に関する投稿

①MCR投稿アプリ（市民）



My City Report
for road managers

道路管理者による巡回時の
道路損傷の自動検知

③AIによる道路損傷自動検出アプリ
(車載)



クラウドを通じた
利用環境の
提供

②MCR進捗管理画面（行政）



④道路管理AIダッシュボード（事務所）



取組の背景

地域課題

- ・人口減少による担い手・財政・技術者の不足
- ・公共インフラをめぐる様々な地域課題（老朽化など）
- ・市民側の地域への無関心



- ◆ ICTを通じた市民と行政の新しいチャネルの形成
- ◆ 市民と行政の直接的な協働機会の形成
- ◆ 統合CRMを含めた行政運営の効率化
- ◆ IoT・機械学習を用いた道路舗装損傷の自動抽出

取組の成果

<マインド>

- ・市民側：従来行政に関心が薄かったスマートフォン利用者層による市民参画→参加者数累計 **9,008人**(2021/1/5現在)
- ・行政側：経験の共有→**処理手順や基準の共有、総会での意見交換**
- ・開発側：**オープンソースでフレキシブルな機能拡張、利用者駆動開発**

<コスト>

- ・クラウド共同利用環境による費用低減
千葉市：市民投稿システム利用料年額538万→**380万**
- ・道路損傷の自動検出、一連の不具合対応のシステム化により、自治体職員の業務効率化とパトロール工数や費用の削減を実現

<横展開>

・参加自治体数：**1県10市**(参加済)、**2都県2市**(予定・検討中)